講義名称	障害児保育
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群(区分)	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し
開講時期	2年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科 (3)

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24203421

担当教員

氏名	所属
◎ 岡森 正吾	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業	障害がある子どもへの保育が一般化してきつつある現代保育者にとって必須の条件となる障害児保育を「基本的知識」、「保育の進め方」、「実践事例」、「保育
概要	演習」の四つの柱から構成して概説する
到達目標	社会的要請の高まりとともに、障害がある子どもへの保育が一般化してきつつある現代保育者にとって必須の条件となるこの障害児保育を「基本的知識」、「保育の進め方」、「実践事例」、「保育演習」の四つの柱から構成して講義を進める。特に、子ども個々の発達評価から発達援助の方法を明らかにし、各種障害幼児に対する 接し方等が分かるようになる

授業計画表

授業計画表

汉未可凹汉		
	【授業計画】	
第1回	障害児保育とは	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間(分)】
	障害児の概念・判別について調べる。また、障害児保育を行うため条件について 調べる	60
	【授業計画】	
第2回	障害児保育の変遷	
37E	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間(分)】
	配布資料を用いて、前回授業範囲の復習をする。	60
	[授業計画]	
第3回	障害保育の諸制度	
- 第3凹	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間(分)】
	配布資料を用いて、前回授業範囲の復習をする。	60
	[授業計画]	
第4回	障害児の基礎知識と発達支援(1)知的障害	
NTE	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間(分)】
	配布資料を用いて、前回授業範囲の復習をする。	60
	[授業計画]	
第5回	障害児の基礎知識と発達支援(2)病虚弱児	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間(分)】
	配布資料を用いて、前回授業範囲の復習をする。	60

【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60
【事前事後学修時間(分)】
60

履修に必要な予備知識や技 能	障害児保育に関する書籍を読んでおくことが望ましい。なお、書籍は指定する
課題に対してのフィードバ ック	前授業での小テスト等については、 授業時に解説する
評価方法・基準	複数回の小レポートまたはテスト及び授業態度から総合して評価する。定期試験60% 小テスト10% 小レポート10% 受講態度(授業への参加度)20%
教科書	授業の中で、資料を配布する。使用テキストなし

備考	各種障害を理解し、障害のある幼児の 接し方が分かるようになってもらいたい
実務経験の内容・期間	特別支援学校教諭5年